

(屋内CWテスト: CWウォークテスト)

- ①伝搬損失確認: 設備の有無や壁の材質などにより変化する電波パワーの減衰を実現場で確認し、設計へフィードバック。
- ②アンテナ数の最適化: ①の伝搬損失を確認することにより、最適なアンテナ数を算出。
- ③出力パワーレベル最適化: 隣接アンテナからの電波と干渉しない最適な出力パワーを算出。
- ④設備のスペック確認: 導入された設備が問題なく作動するか、設備自身の性能を確認。
- ⑤設備の検証: 導入された設備からの電波カバレッジを測定し、設計と比較。

(屋外CWテスト: CWドライブテスト)

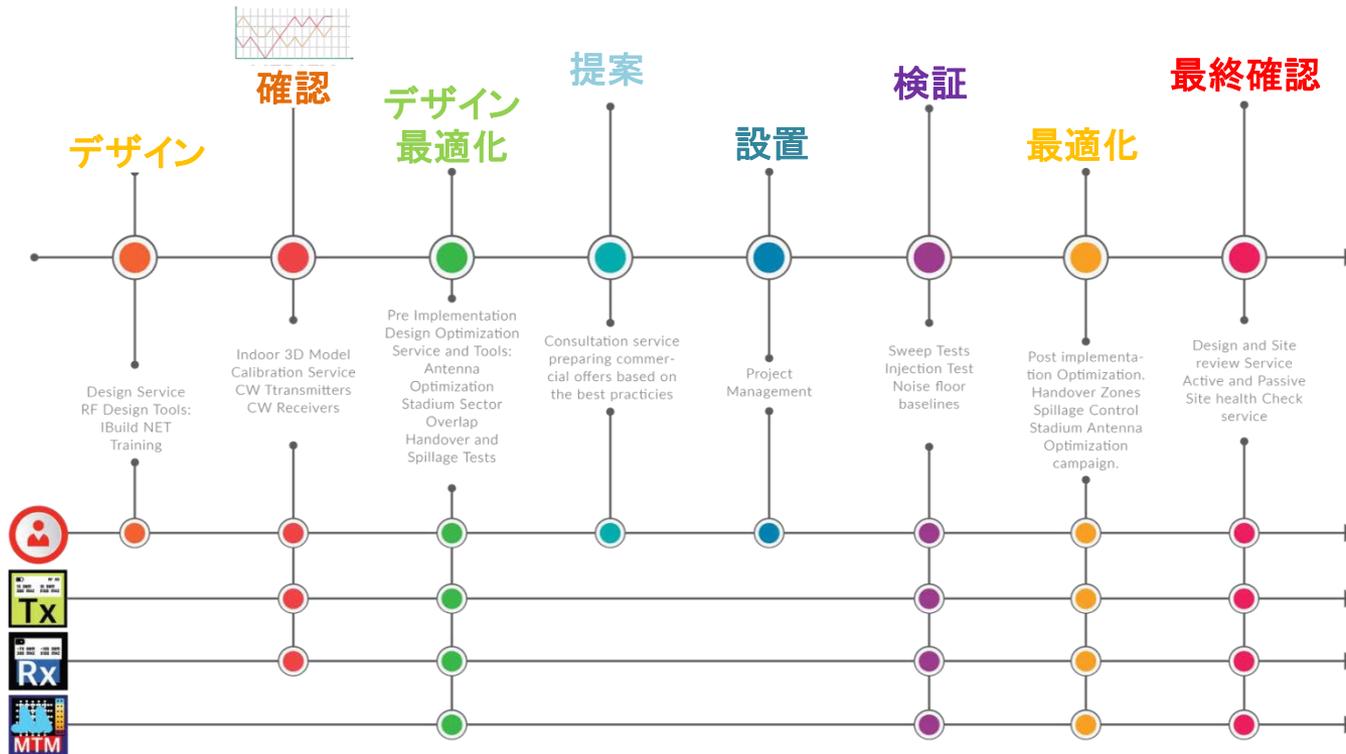
- ①伝搬損失確認: 屋外環境(建物や自然物)による電波の反射・遮蔽・回折などの特徴を解析。
- ②設計との比較: ①を確認することで、設計と実現場のデータを比較し修正。
- ③基地局のカバレッジ評価: 基地局新設時に候補地からのカバレッジを検証・評価。
- ④干渉波の確認: 基地局新設時、隣接する局からの電波との接点・重複点を把握し、干渉波が発生しないよう調整。



CONSULTIX

無線基地局設計の流れ

IBS Products & Services Matrix



CWトランスミッター



CWレシーバー



ケーブルアンテナアナライザ
スペクトラムアナライザ

※CWテストを実施しないと下記問題が生じる可能性がある。

- ①アンテナ数や出力パワーの不足により、低品質なサービス提供につながる。
- ②過剰なアンテナ数や出力パワーにより余分なコストがかかるうえに、隣接する局からの電波と干渉し、低品質なサービス提供につながる。